



「ああ、やっぱりいいな」と 庭の良さをじっくり楽しむ時間が増えました。

豊橋市 S邸



LDKの大きな窓全面に接するウッドデッキを新設。ウッドデッキに腰かけてお気に入りの庭をゆっくり眺めたり、庭の手入れをする時間が増えたとご主人。

リフォームの目的

離れに暮らしていたお母様が亡くなり、家族3世代が暮らしてきた住まいが空家に。思い出の詰まった住まいを、遊びに来た友人や家族が寛ぐ“ゲストハウス”のような場所にしたいと、リフォームされることに。仕事が一段落して時間の余裕もできるので、今までできなかった庭のお手入れなどを気軽に楽しめるようにしたい。

設計・施工のポイント

もともと人が集まるLDKの大きな窓と庭の間に大きな段差があり、玄関を通って庭に移動していました。窓一面にウッドデッキを設置して段差を解消し、LDKから直接庭へ出入りできるようになりました。今まで仕事で忙しくて庭に目を向ける時間が取れなかった分、自宅で過ごす時間が増えるこれからは、庭の良さをじっくりと楽しんでもらえます。



庭に飾り付けられたご主人お気に入りの鬼瓦。本来の役目を終えた後も、庭の片隅で住まいを見守る。

After



Before



ウッドデッキの一部をステップに、急な段差が緩やかになり、直接出入りできなかったお気に入りの庭へ気軽に足を延ばせる。

もっと

ウチにいるとまが、楽しくなる家づくりしよう!